



19日 運動会
大隅アリーナ屋内テニスコート場
9時30分 開会式
12時 終了
現時点では参観者制限はしない予定です。ただし、友人や知人まで声かけするのは控えてください。

22日 11・12月誕生会

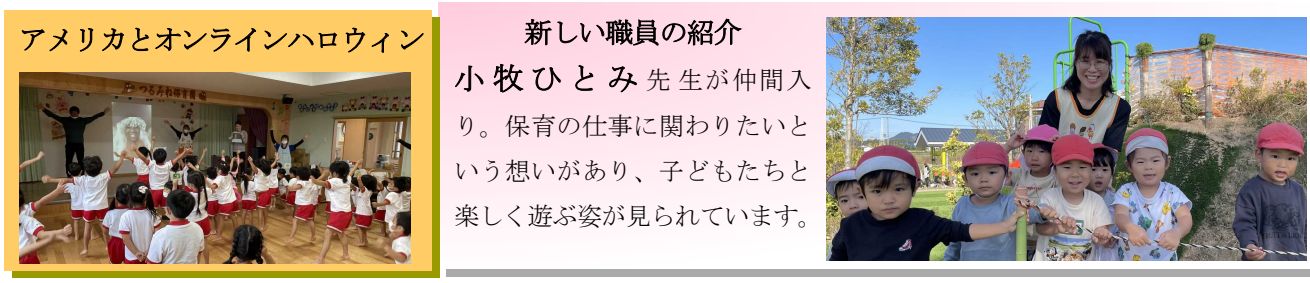
12月10日(土)
保育参観
50周年企画
家族遠足
どんな展開になるかは運動会後にお伝えします。お楽しみに。



第50回 発表会

10月8日(土)、こあら組ときりん組の2部に分けて開催。子どもたちの元気と笑顔を観覧していただきました。昨年、園長として感じたのが、参観者が拍手をためらっている姿でした。昨年の月報でも、そのことは伝えました。そのため、今回は、開始前にお願ひが必要だと判断し、事前にお伝えして練習までしていただきました。その願ひを理解していただき、たいへん多くの心温まる拍手が続き、目頭が熱くなるのを感じるほどでした。幕が開き始めると拍手が湧き、幕が閉まり始めると拍手が湧き、さらに、演技中の音楽に合わせての手拍子の場面も何回も繰り返され、子どもたちのやる気にも大きく影響したと感じました。皆さんが撮影されたビデオでも、大きな拍手が素晴らしい効果になっているはずです。本当にありがとうございました。きっと、この拍手が、お子さんの成長に、大きな役割を果たすはずです。これは、つるみね保育園の保護者の素晴らしい姿として、今後も続けていただくように、願ひしてまいります。

9月の熱中症発生は、鹿児島県が人口比で一番であったと発表されました。当園では、この時期、運動会練習に取り組むことなく、室内の冷房の効いた部屋で、無理なく発表会練習を重ねました。そして、さわやかな気候となった今、笑顔で運動を楽しんでいます。園児や職員の健康を守るためにも、真夏に運動会練習を重ねるといふ、これまでの鹿児島の常識は、この異常気象の時代には考え直すべきだと感じています。



園長雑感 5歳児のプレゼン！おみごとでした！ 4歳児も家庭からの写真受付を始めます。(4歳児の前期の段階は保育園の写真を使ってプレゼンしています。1年後の舞台を楽しみに、思い出の写真1～3枚を、tsurumine1973@po5.synapse.ne.jpへ)

多くの人の前で自分の意見や考えを発表するのは、日本人そして鹿児島県人の多くの人が苦手意識を感じています。私は20年近く小学校教諭を続けていましたが、どこの地域の学校に赴任しても、発表力や表現力が大きな課題でした。その一番の原因は、一人で発表する経験が少ないことです。また、思春期や反抗期を迎える小中高校生の頃からは育ちにくく、限られた人しか発表の機会も得られません。その点、幼児期に、多くの人の前で自分の意見を発表する経験を重ねれば、今後の人生に大きく役立つと確信しています。これは、劇などで、自分以外の役になりきって、決められたセリフを発表すること以上の価値だと感じます。発表会のあと、「このプレゼンタイムは、もう何年続いていますかねえ。」と感慨深げに、これまでに3人のお子さんを卒園させられた保護者から声をかけていただきました。ちょうど10年ほど前、おそらく、日本の幼児施設で初めて、保育で定期的に実践を重ねるようになったのが、つるみね保育園です。その成果を認識された全国の施設が試行するようになり大きく広がっています。(声をかけていただいた保護者のお子さんは、家業の子豚の誕生を祝うプレゼンをすることが多く、その映像は東京大学や東京オリンピックセンターでの研究大会で発表しました。多くの方々が共感してくださったことを、今でも思い出します。それを機に、県外からの視察が続くようになりました。)子どもたちが夢ふくらむ未来で活躍する姿を願ひプレゼンタイムを続けます！

